

議会だより

かみやま

第49号

2021.8.15

6月定例会



6月定例会	2頁
町長の諸般報告	3頁
令和3年度補正予算	4～5頁
6月定例会一般質問	6～12頁

6月定例会は、令和3年6月18日から25日までの8日間の会期で開催した。専決予算3件、専決条例3件、令和3年度補正予算のほか、条例の一部改正等、財産の取得、固定資産評価審査委員会委員の選任、人権擁護委員候補者の推薦、教育長の任命を含む21件を審議し、全議案原案のとおり承認、可決、同意した。

(専決)

- 令和2年度神山町一般会計補正予算（第9号）
- 令和2年度神山町介護保険特別会計補正予算（第5号）
- 令和2年度神山町後期高齢者医療特別会計補正予算（第5号）
- 神山町税条例等の一部改正
- 神山町国民健康保険条例の一部改正
- 神山町介護保険条例の一部改正

(補正等)

- 令和3年度神山町一般会計補正予算（第1号）
- 令和3年度神山町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
- 令和3年度神山町簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）
- 令和3年度神山町介護保険特別会計補正予算（第1号）
- 令和3年度神山町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
- 神山町手数料条例の一部改正
- 辺地総合整備計画
- 令和3年度神山温泉宿泊施設改修工事請負契約の締結
- 財産の取得（3件）

(人事)

- 神山町固定資産評価審査委員会委員の選任
- 人権擁護委員候補者の推薦
- 教育長の任命

23日

行政視察

森林管理道加仁輪線（竣工）の状況・神通滝遊歩道新設工事等（竣工）の状況・神通発電所道路拡幅及び倉庫解体工事（竣工）の状況

24日

一般質問

森本 孝夫 議員、平岡 晴喜 議員、新居 榮二 議員、白土 義信 議員、志甫 守 議員、森 一博 議員、高橋 義英 議員

町長の諸般報告

今年、平年より21日も早い梅雨入りとなった。集中豪雨また土砂災害等に対して避難情報が改正され、顕著な大雨に関する情報ということで線状降水帯の情報が出されることとなった。神山町での降水量、水位等々を状況把握し、的確な避難情報が発令できるよう努め、早めの避難を促すよう考えている。

■コロナワクチン接種状況

4月26日から6月5日までのAグループで約550人分を接種、6月7日から7月17日のBグループで接種が始まり、1,630人の予約をいただいております。合計2,180人であり、高齢者の接種はおおむね7月中に終了する予定。病院に入院している方や施設入所者の高齢者を含めると、高齢者の接種率は約85%が終了できる予定。

6月15日には高校生以下を除く18歳以上の町民に対し接種券を送付した。12歳以上18歳未満

の児童、生徒等については接種希望調査を行い、夏休みを活用して接種を予定している。町内の接種希望者の接種完了はおおむね10月になると思っている。

■地方創生関連

大埜地の集合住宅を4年かけて8棟建築し66名の転入、鬼籠野の西分と神領の寄井に2軒のお試し住宅を整備し9名転入。

城西高校神山校と地域の協力をいただきながら魅力ある学校へ変化したことにより県内外から15名の高校生の転入。

これらの取り組みにより、令和元年度にはプラス4人の社会増を8年ぶりに達成。令和2年度にはプラス27人の社会増となった。ただ、町としては今から40年後2060年に向けて3,000人を下回らない規模で人口が均衡し、バランスの取れた世代が暮らしている状態を目指している。

本年度から第2期計画により、毎年プラス11人の社会増と

いう目標を掲げて計画を実行していくが、子どもたちや孫の世代にまで豊かな暮らしがつかない町となるように努めていく。

■国県道関係の主な予算

道路改築事業、一般国道438号上分地区1,000万円。

緊急地方道整備事業、県道石井神山線阿野2,000万円、県道石井神山線長代1,000万円、県道鴨島神山線二ノ宮から地ノ平2,000万円、神山川島線2,000万円、県道神山国府線の旧阿野橋1,000万円、県道鬼龍野国府線一ノ坂2,000万円、一般国道438号城西高校神山校前1,500万円。

県単独道路局部改良事業、県道石井神山線1,300万円、県道神山鮎喰線養瀬旧道900万円。

■補正予算関係

【総務費】

企業版ふるさと納税の寄附金が増加することによる、まち・ひと・しごと創生推進事業基金への積立7億円、地方創生テレワーク交付金を活用し、下分地野のふるさと就労施設の改修事業費として、4,435万4,000円

【コミュニティ助成事業補助金】

上分の中津集落に対するイベント用品の購入160万円。

【衛生費】

小規模飲料水供給施設応急対策事業として、1,000万円。

【土木費】

若者定住支援住宅新築等補助金で600万円。

【消防費】

消防団への備品購入及び自主防災会への助成金として、368万5,000円。



令和3年度 一般会計補正予算

歳入歳出それぞれ

8億458万円増額

予算総額

54億1,158万円

総務費	● 積立金 (まち・ひと・しごと創生推進事業基金)	7億円
	● 企画費 (コミュニティ助成事業補助金)	160万円
	● 企業立地推進費 (委託料、工事請負費、備品購入費)	4,435万円
	● 地域おこし協力隊費 (地域おこし協力隊委託料)	252万円
民生費	● 子ども子育て支援費 (低所得への子育て世帯生活支援特別給付金)	700万円
衛生費	● 水道対策費 (小規模飲料水供給施設応急対策補助金)	1,000万円
消防費	● 消防施設費 (備品購入費、補助金)	368万円

令和3年度特別会計補正予算

会計名	補正額	補正後の額
国民健康保険特別会計	596万円	7億9,355万円
簡易水道事業特別会計	631万円	2億6,045万円
介護保険特別会計	2,307万円	10億4,580万円
後期高齢者医療特別会計	55万円	1億2,535万円

工事請負契約の締結

令和3年度神山温泉宿泊施設改修工事請負契約の締結について
 請負金額 8,998万円
 (株)北島建設

財産の取得について

○所得物件

令和3年度環境センター塵芥車購入 (老朽化のため 1台) 取得価格 588万円
 令和3年度スクールバス購入 (老朽化のため 2台) 取得価格 1,424万円
 令和3年度神山中学校新校舎備品 (大型) 購入 (神山中学校の新校舎への移転に伴う備品)
 取得価格 2,420万円

人事案件

○固定資産評価審査委員会委員の選任

森本 守氏 阿野字二ノ宮 任期 令和3年6月27日から令和6年6月26日

○人権擁護委員候補者の推薦

寺奥幹生氏 神領字西野間・新居伸一郎氏 神領字北上角

任期 令和4年1月1日から令和6年12月31日

○教育長の任命

高橋博義氏 神領字谷 任期 令和3年7月1日から令和6年6月30日

令和2年度 神山中学校建設工事 進捗状況

7月現在、神山中学校建設工事の進捗率は14%で予定どおり順調に進んでいます。工事は1階柱・壁と2階梁・床の型枠工事、1階壁の鉄筋工事を施工中です。8月中旬から下旬にかけて、1階躯体のコンクリート打設を行い、2階躯体工事へ進む予定です。

令和3年
3月



現 状



(令和3年7月現在)

令和3年

第1回

名西消防組合議会

臨時会

第1回臨時議会は6月17日石井町役場議場で開催された。

本臨時会では議案2件を審議し、原案どおり可決した。

財産の取得について

【第3号議案】

高規格救急自動車1台及び

高度救命処置資機材一式

取得予定金額

2,783万円

【第4号議案】

救助工作車Ⅱ型1台

取得予定金額

1億1,418万円

一般質問



森本孝夫 議員

●質問1● ワクチン接種予約について

高齢者を対象にしたワクチン接種予約が第一回4月19日以降と第二回5月24日以降、インターネットと電話での受付が始まった。インターネットでは慣れた人でないと予約するのが難しく電話での申込みが集中し、混乱が続き、予約できない状況も続き、無駄な長い時間を使った大勢の町民の方から多くの苦情が出た。この件について、町はどのように思うのか。予想されていなかったのか。今後64歳以下の一般接種者には混雑を避けるため、予約改善が必要でないかと思う。町の考えをお伺いしたい。

●答弁● 健康福祉課長

予約センターで電話と専用WEBサイトでの予約を受け付け、大変な混雑となり住民の皆様にはご迷惑をおかけした。6月15日に64歳以下の方約1900人に接種券を送付し、7月9日から60歳から64歳までの方、7月13日からその他の年齢の方等国の定めた順番に予約をしていたようにしている。

再問

接種予約がしなくても電話することができない困難なひとり暮らしの高齢者や施設入居者障がい者の方への支援と対応等について、お伺いしたい。

●答弁● 健康福祉課長

予約の機会を逃した高齢者で、7月5日、6日の2日間を予約できるよう計画して、防災無線で予約センターに電話で予約していたべくよう放送することとしている。

町民の人が一日も早くワクチン接種ができ、安全安心な生活ができることを願いたい。

●質問2● 地籍調査について

市町村と所有者が立ち会って筆ごとに宅地や農地、山林の境界を確認し、測量後に情報をまとめた地籍簿と地籍図を作り現況と異なる登記簿を修正する調査業務の測量実施完了状況をお伺いしたい。

●答弁● 税務保険課長

令和2年度末で調査完了面積17.28平方キロメートル、進捗率は、10.22%です。

再問

未測量地について今後の予定と計画はどのように進んでいくのか。地籍調査が遅れるほど農地の荒廃が進むので一日も早い町内全地区の地籍調査が必要と思う。また、現在耕作している農地で現況と異なる地番が確認されている農地については、どのようになるのかお伺いしたい。

●答弁● 税務保険課長

令和2年度から10年間で約11平方キロメートルの調査計画である。公図等の修正は法務局の所管となる。

●質問3● 道の駅駐車場について

道の駅運営状況は、良好であると思う。しかし春のしだれ桜等から花のシーズンには町外からの多くの観光客が来町して、道の駅を利用しているが車の駐車等に、苦労されている。又道の駅周辺の混雑を避けるためにも、駐車場の確保、拡張が大切だと思う。町の考えをお伺いしたい。

●答弁● 町長

時期的な周辺の混雑についてはご指摘のとおりである。しかし周辺住民にとれば深夜の騒音から待ち合わせ場所となるといった状況下で設置されているため、非常にデリケートな問題である。平野部など隣接した周辺に民家のない場所とは状況が違うため、拡張計画をすすまないの



道の駅駐車場

答弁は控える。

一般質問



平岡晴喜 議員

● 質問 1 ● 町営バスにユース

国道438号上分門屋地区では、平成27年4月、平成29年3月と2本の橋が完成していましたが、通行できない状態が続いていた。この旧道は対向できない場所が多くあり、狭く曲がりく



国道438号上分門屋地区

ねった交通難所となっていた。利用している方は、一日も早い通行を待ち望んでいた。

今年3月16日にこの橋が利用できるようになり、地域の住民の方々からは、大変便利になったという声を多く聞いている。

しかし、町営バスは現在も旧道を通り、橋を利用出来ない。後期高齢者が60%を超える上分地区では免許返納者も増えてくるのが予想されることから、町営バスの利用者もこの橋を利用できるよう、早期のルート変更が必要であると考え

る。どのように進められているか。

答弁 住民課長

国道のバイパスが整備されたことによる神山町営バスの走行ルート変更については、経路・距離・運賃等を、四国運輸局へ登録しているため、変更申請が必要となる。現在、走行距離の計測を行い、地域公共交通会議の準備を進めている。

地域公共交通会議の合意が得られたらルート変更申請を行い、運賃については神山町営バス運行管理規則の改正を行う。

● 質問 2 ● タブレット端末にユース

県内に配備されたタブレット端末については、発火等の問題が多く報道されていた。今月に入り、石井町で31台のタブレットで不具合があったと報道された。

神山町では問題は発生していないのか。また、チェック体制はどうなっているか。

答弁 教育委員会教育次長

町内小中学校には、令和3年3月末までに2228台のタブレットを整備している。

他市町村において報告されたバッテリー膨張や発火などの不具合は確認されていないが、キーボードの動作不良が1件あり、取り替えの対応をとった。

今後についても、保守点検業者を入れているので、学校と常に情報連絡を取りながら対応していく。



神山中学校 タブレット使用風景

一般質問



新居榮二 議員

●質問1● 地方創生交付金について

地方創生推進交付金は、神山町まちを将来世代につなぐプロジェクト第2期を策定し、交付されるが、他自治体では不適切な支出で返還する事案もあった。ある教育関係者が内閣府へ問い合わせたら、高専ができない場合交付金は返してもらおうとのことだったそうだ。もし高専が認可されず交付金を返還しなければならぬ事態となった場合、町は対応をどう考えているのか。

答弁 総務課長

高専の事業に対しては、この交付金は使用しておらず、今は交付金を神山つなぐ公社の委託料に使用しているため、返還ということは無いと考えている。

●質問2● ふるさと納税について

先の3月議会で神山町まち・ひと・しごと創生事業基金条例が可決された。住民説明会でもその基金で開校支援すると説明され、使途についても補助金として出すので町に監督責任があると明言されていた。支出について責任があるなら高専が認可されない事態になった場合、企業版ふるさと納税の寄附者に対してどのように対応するのか。

答弁 総務課長

企業版ふるさと納税については、地域再生計画に記載された事業のみに充てることができる。現時点では高専に対する寄附が多く集まっている。これはあくまでも想定であるが、今後高専が認可を受けられなかった場合は、高専への補助金は返還してもらい、神山町から寄附してくださった企業へ返還し、企業は修正申告をしていたかどうかという手順になる。

●質問3● 神山町地方創生戦略まちを将来世代につなぐプロジェクト第2期について

議会一般質問や住民説明会で公私

協力方式や公設民営方式はとらないと明言していた町長の姿勢は評価したい。しかし、KPIによる事業評価が義務づけられることにより、高専が経営難になった場合、町としての対応が必要になり、寄附者へ対して地方公共団体としての社会的責任が増すと思うが。

答弁 町長

内閣府のQ&Aの中に「実施した事業のKPIの達成度が極めて低い結果となった場合、推進交付金を返還する必要があるか」との問いに対し、「達成度が極めて低いことを理由に推進交付金を用いて既に行った事業分の資金の返還をしていたかどうかは想定していない。」とある。まちを将来世代につなぐプロジェクトについては、人口ビジョンにおいて達成ができています。

●質問4● 住民説明会について

高専の開校について不安や疑問がある方から問われ、返答に困ることがあり、町民説明会の必要性を感じている。高専側の責任者と共に説明会を開くべきと考えるが、開催する用意はあるか。

答弁 総務課長

事業の進行により今後さらなる進捗がある際には広報等で周知し、改

善センター等で説明会を実施したいと思っている。

●質問5● ウッドショックについて

アメリカから日本への輸出が大幅に減少して需要と供給のバランスが崩れ、大幅な木材の不足と高騰が起きているが、影響をどのように予測しているのか。

答弁 教育委員会教育次長

今春頃から木材価格の高騰が報道されている。一部の輸入木材の調達に難しく建築予定の木造住宅に影響が出ている。現在建設中の神山中学校建築工事について請負業者に確認したところ影響ないとのこと。

答弁 町長

昨年6月議会に、「景気の動向によつては高騰が生じるのでは」との質問に、私から「恐らくデフレ傾向が続く、景気の低迷が続くと予測され、資材の高騰はないであろう。」と答弁した。教育次長の答弁のとおり、今のところ資材高騰等の影響はない。

町長が言うように「もし」や「たられば」問答している時期ではない。神山町の将来を左右する問題であり、理事者の方々にはがんばっていただきたい。

一般質問



白土義信 議員

●質問1●
東部広域ごみ処理施設に
ついで

徳島市を中心とした広域ごみ処理施設が、マリンプリア沖洲の方へ新たに建設されるといような報道があった。町のごみは、民間委託により回収されている、リサイクルごみについては、十分リサイクル化がすすんでいるが、焼却ごみについてはどのように処理されているのか。将来的にも安定しているのか。また、コスト面やいろいろなことを総合的に考えて、広域に参入するのが得策なのかどうか、お尋ねしたい。

答弁 住民課長

焼却によって処理をしているものは、燃やすごみ、粗大ごみ等の木くず、紙おむつ、生ごみがある。それぞれの処理業者に委託している。処理費の実績については、元年度分で、燃やすごみ801万8,143円、木くず45万6,436円、紙おむつ収集運搬込395万3,920円、生ごみ102万2,350円である。

答弁 町長

神山町は、ごみの減量化、分別を徹底して、分別排出処理をしている。特にごみの減量化については、全国10万人以下の自治体において常に1、2番であったりと上位をしめている。

また、地球温暖化対策、気候変動等を考え今後ますます焼却ではなく、再資源化する。ごみを出さない、プラスチック等々使用しないという流れが加速していくと思われる。

東部広域ごみ処理計画は、ど

うしても焼却のウエイトが高くなるのではと考えた場合、ごみ処理計画の流れにどうだろうかという立場をとっている。小さい自治体だからというのではなく、20万人、30万人規模の市でも、減量化を徹底している自治体もあるのでは、そこは、住民のご協力ということが一番大事なのではないかと思う。

神山町は、ごみの減量化、リサイクル、分別ということを徹底する前に女性団体の方々と、委員会を立ち上げて現在の方式に至っている。この神山方式が継続するのが経費としても間違いなく安いと思うので、東部広域ごみ処理計画には参加しないと考えている。



神山町指定ごみ袋



一般質問



志南 守 議員

● 質問1 ● 高齢者支援対策について

現在、緊急医療キットの対象者の方は、65歳以上の一人暮らしの方で、757世帯ある。75歳以上のみで構成されている世帯数は、514世帯となっている。それ以外にも若いひとり暮らしの人も多く、その中には病気の方や障害者の方もいる。そうした中、救急情報医療キットがあれば役に立つと思う。今後どのように救急情報医療キットの対象者の方々に伝えていくのか。

また、若い人の一人暮らしの方にはどのように伝えていくのか。

答弁 健康福祉課長

救急医療情報キット整備事業は、介護保険の地域支援事業任意事業により実施している。対象者は神山町内に居住する介護保険第1号被保険者で一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯の希望者としている。救急医療キットを活用する方は、消防署員にわかる場所に救急医療情報キットを入れているというシールを貼っており、冷蔵庫に緊急医療キットを入れておくことを基本としている。救急医療情報キットは、急病や事故などで、親族等がおられず、救急医や救急救命士に本人の情報を伝えることが出来ない時に、キットを活用して患者の情報を確認し、適切な対応や治療をするためのものである。若い世代の方も必要と思うが、未だ若い世代の方から問い合わせはない状況である。

また、現在地域の民生委員さんが、避難行動要支援者台帳を

作成しており、65歳以上の高齢者のほか、高齢者以外でも介護保険における要介護3から要介護5までの方、身体障害者手帳1級、2級の方、難病患者で災害時の避難に支援が必要な方などについては、かかりつけ医や親族、飲み薬等を記載した台帳を作成し、役場健康福祉課で保管して緊急時等に活用することとなっている。



救急医療情報キット

● 質問2 ● 新型コロナウイルス事故 について

今なお収束の気配が見えない中、新型コロナウイルス接種は急務である。もし、接種後に副反応があった場合、患者さんに対してどのように対処するのか。また、その場合の病院の確保はできているのか。

答弁 健康福祉課長

新型コロナウイルス接種後15分～30分間、接種医療機関で経過観察している。その後体に異常が確認された場合、医療機関やかかりつけ医、市町村や都道府県の窓口にご相談していただくこととなっている。

また、医療機関が判断して、救急による搬送が必要な場合は、県が指定している医療機関へ搬送されることになっている。

一般質問



森 一博 議員

● 質問1 ● 高齢者の移動支援について

高齢者等タクシー利用助成事業は、年間30往復分でまかなえているのか。高齢者路線バス定期券購入助成事業も公共交通空白地帯では利用しづらい。そこでユニバーサルデザイン車両を使用したデマンド（要求対応）型乗合タクシーを導入してみたい。ドアからドアへの便利さが、低料金で利用でき、ハンデを抱えた人たちにも外出の機会ができる。現状の利用状況は。今後の支援をどうするのか。

答弁 健康福祉課長

高齢者等タクシー利用助成事業令和3年3月末現在、5冊購

入20人・4冊購入17人・3冊購入28人・2冊購入43人・1冊購入137人。利用目的は、医療機関61%・公共機関4%・買物その他35%。高齢者路線バス定期券購入費助成事業は、平成30年度1年定期32件・令和元年度1年定期30件・令和2年度3か月定期1件・1年定期25件と年々減少。町内で福祉車両を持っているのは民間1事業者。移動支援は重要な課題。ユニバーサルデザイン車両についても、先進地事例を参考に検討したい。

答弁 住民課長

デマンド型乗合タクシーは、町内が広く巡回中の対応が困難。車両運転手の確保・システム・人件費などの経費や町内の事業者と協議が必要。デマンド型乗合タクシー導入は財政的に難しい。今後は小型化やユニバーサルデザイン車両導入を検討したい。

● 質問2 ● 営農支援について

ドローン技術を活用した薬剤散布作業には委託か、機材・技術の導入がある。小さな農地が点在する事で、委託先が作業を請けかねる事が予想され、機材導入は初期投資が300万円程かかる。国から補助金・助成金制度があるが、規定・条件があり全てが受けられる訳ではない。負担軽減・後継者育成に関わるこれらに対し、町として現在支援を行っているのか。今後どのような形で補助、支援に関わっていくのか。

答弁 産業観光課長

担い手確保・労働力確保は重要な課題。スマート農業導入により省力化・労力軽減を図る事は重要性が増している。町はスダチでの導入を目指し、農業生活指導班で実演会を行っている。ドローンの導入状況は水稻で3年程前から行われ現在は43戸・約10haで利用者は増加傾向である。今年度、スダチ園地で

ドローンによる防除の実証実験を行っており、今後の判断材料とする。しかし機械が高額で導入できない原因となっており、経営面積を考えると国県の補助事業を活用した共同利用や民間事業者への委託も検討する必要がある。このような状況から果樹への導入には時間がかかるが、必要と考えられるため状況を注視し導入時期を見極めながら、必要に応じて対応していきたい。

答弁 町長

水稻や、スダチで試行錯誤をしている。ドローンで散布する場合効果が疑問視されるが技術革新の状況下、導入は担い手育成に欠かせない。指導班会を通じて取り組んでいく。時代は食品に対する安全安心思考が高まっており、空中散布は、周辺作物への影響から迷惑をかける事も懸念される。面積の少ない農業地帯では制約がかかるが、農薬散布以外の機械を導入するのもスマート農業の在り方と考える。

一般質問



高橋義英 議員

●質問1● GIGAスクール構想の 現状・タブレット端末の 使用状況について

教育現場における新型コロナウイルス対策としてGIGAスクール構想の現状などについて。

- ①授業で教科書などを使わず、タブレット端末だけで授業をしているのか。
- ②特別教室や体育館などのネットワーク環境は整備されているか。
- ③QRコードが読み取りにくいと聞いたが、カメラ等の不具合はないか。
- ④ICT化による児童生徒への心身への影響について。ブルーライトは目に悪影響はないとあるが、睡眠に影響がでるとも言われている。端末自体にブルーライトカットフィルムなどは貼られているのか。

- ⑤個人情報対策、セキュリティ対策はどのようになっているか。
- ⑥学校の机の天板が大きくなるとあったが、どれぐらい大きくなるのか。

答弁 教育委員会教育次長

- ①タブレットが導入され2か月経過したところ。教員と児童生徒が徐々に操作に慣れてきている。現在は教科書をメインに使用してタブレットはサブで使うという状況である。
- ②各階にアクセスポイントを設けており、普通教室や特別教室及び体育館での通信が可能となっている。
- ③QRコードが読み取れない支障については、アプリケーションを追加で入れることによって対応が可能。
- ④ブルーライトによる悪影響への心配については、まだ利用がはじまったところなので、学校と相談しながら今後対策をしていきたい。
- ⑤個人情報については、児童生徒に英数字のIDとパスワードを割り当てているので、第三者から個人が特定できないように安全対策がされている。
- ⑥現在使用している学習机に10cmほどの天板を拡張する器具をネジ止める。落下防止ガードがついているので、教科書やノート、タブ

レットの落下防止をすることができきる。

その他、長期間休校となる場合には、タブレットを持ち帰って学習でききるように考えている。Wi-Fi環境がないご家庭には、教育委員会からWi-Fiルーターを貸し出す。タブレットの保証サービスについては、タブレット本体の部品の不具合による自然故障と落下による破損や水濡れ等による物損故障及び盗難の保証を購入時から5年間契約しているため、児童生徒や保護者による負担はない。ただし、故意により破損させた場合には、保証対象外となる。

再問

全生徒、先生、保護者などへのタブレット端末のアンケート調査などは行っているのか。

答弁 教育委員会教育次長

現在のところタブレット端末の利用状況についてのアンケート調査は、行っていない。今後検討したいと思う。

●質問2●

廃校校舎の管理・整備に ついて

学校は地域にとって貴重な財産であり、廃校になったとはいえ災害時や地域の催しなど地域の方の利用が

ある。コロナ禍で外出を控えている子どもたちが近くの廃校校舎へ行くこと、安全点検が出来ていない危険な遊具も見受けられる。

建物、遊具、屋外ナイター照明などを、どのような管理体制で年何回くらい点検しているのか。各地区などで遊具の設置は難しいのかお聞きしたい。

答弁 教育委員会教育次長

日常的な点検については、教育委員会と公民館の職員で行っている。

遊具については、昨年度に専門業者による安全点検を実施した。設置してからかなりの年数が経過していることから、ほとんどの遊具について修繕や撤去が必要であるとの報告があった。撤去するだけでなく、新しい遊具を設置するか、遊具を設置する場合はどれくらいの利用者があるのかなどの調査も必要であると考えている。

建物については、不具合があればその都度修繕を行い、維持をしている状況。昨年度に学校施設等の長寿命化計画を策定。維持管理の優先順位の高い施設については、修繕をしていく。

ナイター照明については、修繕が必要であると認識している。利用頻度と利用目的にあわせてLED照明に交換できるように検討をしたい。

【町内行政視察】

令和3年6月23日、開通した森林管理道加仁輪線や神通滝遊歩道新設工事、神通発電所道路拡張及び倉庫解体工事等の状況について、現地行政視察をおこなった。

○森林管理道加仁輪線

上分江田地区から加仁輪線に入った。総延長3,181m幅員3×4mで平成4年度から令和2年度の29年間第1期、2期に分けて工事が行われた。総事業費は約5億5千万円となっている。この道は、林業活性化のみにとどまらず国道193号線の迂回路ともなっている。



林道加仁輪線

○神通滝遊歩道

神通滝は水瀑で名をとどろかせた滝であるが、旧遊歩道は狭い山道で落石等もあり、滝壺までの行程は危険で長年遊歩道の整備が望まれていた。今回遊歩道が新設され、観光客の入り込み増加が見込まれている。遊歩道入口駐車場には公衆トイレの新設も計画されている。



神通滝遊歩道

○神通発電所周辺整備

神通発電所は大正7年に開業され、昭和48年まで配電された。その後発電設備、変電設備が神山町へ譲渡された。令和2年度PCBを含む変圧器処分、25tクレーン車で作業する必要があったため、進入路拡張、発電所建屋前にあった倉庫を解体した。

加仁輪線の途中にある貯水池管理小屋で神通発電所水圧管等を見て、道路も機械もほとんど無い時代に水圧管等の敷設工事をおこなった先人の行動力を思うと、貴重な遺産として残すだけでなく、新たな観光ルートの創設、活用を大胆におこなう事が重要と改めて痛感する研修であった。

(平岡 晴臺)

神山の 風景



コロナウイルスで中止された七夕飾り2年続けての中止はしのびなく、上分地区では6月25日・26日の両日にかけて、3密をさげマスクを着用しての作業の中、七夕飾りを完成させました。今年通れるようになった門屋1・2号橋の上にも飾りつけました。

(平岡 晴喜)



議会の動き

- 8月
 - 23日 国道193号倉羅トンネル開さく促進期成同盟会
 - 下旬 議会運営委員会
- 9月
 - 上旬、9月定例会
- 10月
 - 中旬 神山中学生議会
 - 5日 四国四県町村長・議長大会

表紙写真説明

令和3年7月25日、梅雨が明けた快晴の下、広野小学校グラウンドに於いて2年ぶりに神山町スポーツ少年団球技大会が行われました。昨年、開催できなかった大会ですが、コロナ対応の浸透、開閉会式の省略や競技方法変更・時間短縮などの工夫を凝らし、運営に携わるすべての人によって無事に実施することができました。

今、この年齢でしか参加できない子供たちにとって貴重な夏休みの体験となる大会が開催できた事を、かつて当たり前に開催していたイベントがようやく再開できたことを感謝したいと思います。

(森 一博)

編集後記

6月定例会は、梅雨のすっきりしない天気が続く中で行われました。神山街道には紫陽花がたくさん咲き、上分、鬼籠野地区では七夕の笹飾りも取りつけられて、気分を和らげてくれました。

議会では、6月定例会でビデオカメラを議場内に設置し、議員一般質問の様子を撮影しました。議会活性化特別委員会の中で検討を重ねている課題の一つです。将来的に定例会の様子をパソコン、スマートフォン等で町内の皆様に見ていただけるようになったらいいのではないかと思います。

町内では、高齢者へのコロナワクチン接種も進み、64歳以下へのワクチン接種も順調に進んでいます。しかし、県内の感染者も少しずつ増え、全国での感染者数は過去最高を更新し、心配な日々が続いています。

今年の夏も各地区のイベント等が中止となりました。七夕飾り、夏祭りは、感染拡大防止のためとはいえ寂しさを感じます。早く本来の姿に戻ってほしいものです。

夏本番！コロナウイルス対策はもちろんですが、熱中症にも気をつけて暑い夏を乗り切りたいと思います。

(白土 義信)